

1989

## UTILITY MODEL APPLICATION PUBLICATION OF JAPAN

RECEIVED

(11)Publication number : 57-57853  
(43)Date of publication of application : 05.04.1982

(51)Int.Cl.

A 62 B 18/08

(21)Application number : 55-134698

(71)Applicant : TOSHIBA CORPORATION

(22)Date of filing : 24.09.1980

(72)Inventor : NOSE SATORU

## (54) PROTECTION MASK

## 2. Claims

1. A protection mask comprising a concave groove for partitioning a sealing surface along the longitudinal direction on the sealing surface in contact with a facing surface of a mask main body.

2. The protection mask according to claim 1, wherein the concave groove is connected to pressurization means capable of bringing the inside of the concave groove under positive pressure relative to the outside air at the time of putting the protection mask on a face.

## Detailed Descriptions of the Invention:

.....

It should be noted that although omitted in the figure, the concave groove 3 is connected to pressurization means capable of bringing the inside of the groove under higher pressure than the outside air at the time of putting the protection mask on a face such as a tank, or pressurized by the air or the like at the time of exhalation. Thereby, it is possible to completely prevent the outside air from coming in.

.....

INVENTOR

⑬ 日本国特許庁 (JP)

⑭ 実用新案出願公開

1982.04.03

⑯ 公開実用新案公報 (U)

昭57-57853

REGISTERED

識別記号

庁内整理番号  
6901-2E

⑮ 公開 昭和57年(1982)4月5日

A 62 B 18/08

審査請求 未請求

(全 1 頁)

⑰ 防護マスク

6 東京芝浦電気株式会社東京事務所内

⑱ 実 願 昭55-134698

⑲ 出 願 人 東京芝浦電気株式会社

⑲ 出 願 昭55(1980)9月24日

川崎市幸区堀川町72番地

⑲ 考 案 者 野瀬悟

⑲ 代 理 人 弁理士 則近意佑 外 1 名

東京都千代田区内幸町1の1の

⑳ 実用新案登録請求の範囲

記載の防護マスク。

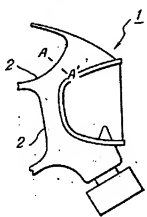
- 1 マスク本体の顔面と接触するシール面に該シール面を長手方向に沿って区分する凹溝を設けたことを特徴とする防護マスク。  
2 凹溝は、防護マスクの顔面装着時に前記凹溝内部を外気に対して正圧可能にする加圧手段に接続されてなる実用新案登録請求の範囲第1項

記載の防護マスク。

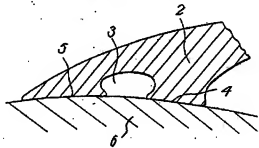
図面の簡単な説明

- 第1図は本発明に係る防護マスクの側面図、第2図は第1図におけるA-A'断面図を示す。  
1……防護マスク、2……顔面接触部、3……凹溝、4……内側シール部、5……外側シール部、6……顔面。

第 1 図



第 2 図





(4,000円)

実用新案登録願(U3)

後記号なし 55. 9. 24  
昭和 年 月 日



特許庁長官殿

1. 考案の名称

顔ゴ  
防護マスク

2. 考案者

東京都千代田区内幸町1の1の6  
東京芝浦電気株式会社東京事務所内

ノ セ サトル  
野 瀬 悟

(ほか 0 名)

3. 実用新案登録出願人

神奈川県川崎市幸区堀川町72番地

(307)

東京芝浦電気株式会社

代表者 佐 波 正 一

4. 代理人



〒100  
東京都千代田区内幸町1-1-6  
東京芝浦電気株式会社東京事務所内  
電話 501-5411 (大代表)

(7317)

代理人 則 近 憲 佑

(ほか 1 名)

✓ 55 134698



5-7853

## 明 細 書

### 1. 考案の名称 防護マスク

### 2. 実用新案登録請求の範囲

1. マスク本体の顔面と接触するシール面に該シール面を長手方向に沿つて区分する凹溝を設けたことを特徴とする防護マスク。

2. 凹溝は、防護マスクの顔面装着時に前記凹溝内部を外気に対して正圧可能にする加圧手段に接続されてなる実用新案登録請求の範囲第1項記載の防護マスク。

### 3. 考案の詳細な説明

本考案は防護マスクに係り、特に顔面装着時に防護マスクの顔面接触部からの外気の侵入を防止するシール構造を有する防護マスクに関する。

従来より、原子力発電所等においては、空気中の放射能濃度の高い場所に立入る場合、吸入による放射性物質の体内摂取を防止するために防護マスクの着用が義務づけられている。このような防護マスクとしては顔面全体を覆う全面マスクと、口及び鼻の周囲だけを覆う半面マスクとがあるが、

いずれの防護マスクにおいても防護マスクの顔面接触部のシール構造が一重であるために、マスク装着時の顔面の動き等で生ずる間隙から吸気時に外気がマスク内部へ侵入し放射性物質の吸入につながる危険性があつた。

放射性物質の体内摂取は、その量が微量であつても体内に蓄積し、長期間に亘つて内部被ばくをもたらすため、防護マスクの顔面接触部のシールをより完全なものにすることが望ましい。

本考案は上記の事情に鑑みなされたもので、その目的は防護マスクの顔面接触部に生ずる間隙からの外気の侵入を遮断し、マスク装着者の放射性物質による内部被ばく等を防ぐシール構造を有する防護マスクを提供することにある。上記目的は、マスク本体の顔面と接触するシール面に、該シール面を長手方向に沿つて区分する凹部を設け、外気との間を二重に遮断するようにした防護マスクにより達成される。

以下、図面を用いて本考案の一実施例を説明する。図1図は本考案の防護マスク1の外観を示す

側面図であり、第2図は第1図におけるA-A'断面図である。

図において、防護マスク1の顔面と接触するシール面2は、全周に亘つて二重にシールされるように前記シール面2を長手方向に沿つて2分する凹溝3が形成されている。4および5は凹溝3により形成された内側シール部および外側シール部である。

前記内側シール部4と外側シール部5を構成するシール部材としては、顔面6に密着得易な伸縮性と材質、例えばゴム、プラスチック等の材料が用いられる。

なお同図では省略したが前記凹溝3は、防護マスクの顔面装着時に鼻内部を外気より高い圧力下に置くことができる加圧手段、例えばポンペ等に接続するかあるいは吸気時の空気等により加圧することにより、外気の侵入をより完全に防止することができる。

以上述べたように、本考案の防護マスクは内側シール部及び外側シール部が共に顔面に密着するよ

うに装着することにより二重にシールされ、装着中の顔面の動きにより顔面との接触部において間隙を生じた場合にも外気の侵入を遮断することができ、マスク装着時の安全性の向上に大なる効果を有する。

また、顔面接触部に形成された凹状部内部に加圧手段を確立することにより、外側シール部と顔面との間に間隙を生じた場合にも外気の侵入を完全に防止することができる等の利点を有する。なお以上の実施例では凹溝を一対とし、二重シール構造とした例につき説明したが本考案はかかる実施例に限定されるべきものではなく、例えば凹溝を二重にしてシール面を三重に形成することも可能である。

#### 4. 図面の簡単な説明

第1図は本考案に係る防護マスクの側面図、第2図は第1図におけるA-A'断面図を示す。

- |          |          |
|----------|----------|
| 1…防護マスク  | 2…顔面接触部  |
| 3…凹溝     | 4…内側シール部 |
| 5…外側シール部 | 6…顔面     |

Fig 1 第 1 図

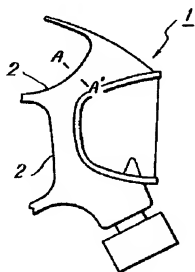
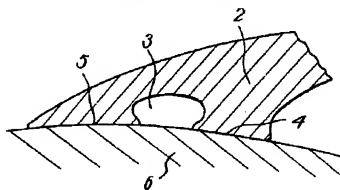


Fig 2 第 2 図



51956

代理人 佐藤 正 岡 近 志 祐 (ほか1名)



5. 添付書類の目録

- |           |     |
|-----------|-----|
| ・ (1) 委任状 | 1 通 |
| ・ (2) 明細書 | 1 通 |
| ・ (3) 図面  | 1 通 |
| (4) 願書副本  | 1 通 |

6. 前記以外の考案者、実用新案登録出願人または代理人

- (1) 考案者

(2) 代理人

東京都千代田区内幸町1-1-6  
東京芝浦電気株式会社東京事務所内  
代理人 西 山 修

8174)

57853